

# ◇ 第 53 回全日本大学駅伝関西学連出場大学選考会 ◇

2021年6月13日(日) 西京極 (たけびしスタジアム京都)

## 【総合成績】

順位	大学名	総合タイム
1	立命館大	4:04:51.14
2	関西学院大	4:05:14.83
3	大阪経済大	4:07:45.43
以上3大学が選考会通過		
4	京都産業大	4:07:51.48
5	関西大	4:08:05.52
6	びわ湖学院大	4:11:55.30
7	京都大	4:13:24.42
8	大阪大	4:21:08.76
9	近畿大	4:22:40.68
10	神戸大	4:25:17.28
11	龍谷大	4:28:31.27
-	大阪学院大	DQ

## 【競技結果(10000m)】

氏名(学年)	記録	備考
佐久間 啓(6)	32:11.85	
若江 亮平(4)	32:28.73	
田上 雄士(4)	32:38.73	
篠原 直生(2)	32:52.13	大学初
岡田 卓也(3)	33:12.93	
佐々木 太一(2)	33:16.22	
谷垣 賢(4)	33:36.63	
横谷 陸哉(2)	35:00.06	自己新
三宅 真之介(3)	35:34.82	
細見 貴之(4)	DNF	

※総合タイムは各大学学出場 10 名中  
上位 8 名の合計記録

## 【パート長コメント岡田卓也(3)】

まずは、このようなコロナ禍という状況にあって大会を開催して下さった関係者の方々、通常の形とは行かない中でも、暖かいご声援を送って下さった神戸大学陸上競技部のOBの方々に感謝を申し上げます。

今回の大会は神戸大学として何年もの間、出場を目指してきました。その念願叶っての出場権獲得という事で、部員一同高いモチベーションでこの大会に臨む事が出来ました。

また、この大会を丹後駅伝への前哨戦と位置付け、総合10位という目標を設定し、本番でその目標を達成できた事は、チームとして大きな収穫になりました。一方で、神戸大学は高いレベルでの上位争いに食い込む事は殆ど出来ず、関西の実力校との圧倒的な実力差を実感させられる結果となりました。この結果を諦めではなく、さらに上のレベ

ルを目指す為の糧とする事で、チームの成長につなげていく事が今後の課題だと感じています。

関西女子駅伝・関西インカレ・丹後駅伝等、今後に控える対抗戦で最高の結果を出す為、神戸大学陸上競技部はこれからも邁進して行く所存です。これからも私達の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 【選手コメント】

### 佐久間啓(6)

6年目で初めて出場することができ大変嬉しく思います。ここまで実力をつけてきた皆には感謝してもしきれません。ただ、大学の実習との兼ね合いで出場する組にも配慮して頂いた中で、個人として事前の想定より悪い結果となりチームに貢献しきれなかったのは残念です。最後の一年ではありますがまだ多くの試合も残されており、それに向けて今後も部に貢献していければと思います。応援サポート等ありがとうございました。

### 若江亮平(4)

初めて全日本大学駅伝選考会に出場することができましたが、調子を上げられず他校とは全く戦えませんでした。



佐久間啓(6):5 番目

来年以降も出場できるように 10000m で記録を狙い、上位校の選手と戦える実力をつけます。

### 田上雄士 (4)

苦しい展開になり、思うような結果を残せませんでした。次に向け、できる限りの努力を尽くして強くなります。応援ありがとうございました。



田上雄士(4)

### 篠原直生 (2)

3組で走らせていただきました。この大会は自分にとっては経験と挑戦という意味合いを持った大会でした。トラックでは初となった10kmでしたが、目標としていたところには届かなかったものの、秋の丹後駅伝に向けて、自信を持てるレースになったと感じています。一方で、入賞圏の大学との差を痛感したレースにもなりました。丹後に向けて、より一層練習に励みたいと思います。



岡田卓也(3):4番目、篠原直生(2):先頭

### 岡田卓也 (3)

この度、全日本大学駅伝関西地区予選会の3組で選手として走らせて頂きました。自身の結果としては、10000mを33分12秒93と、今の実力通りの走りは出来ました。しかし同時に、今の実力では関西の実力校には歯が立たないことも思い知らされ

ました。今回肌で感じた強豪校の選手達の実力、そしてその覚悟を常に忘れる事なく、秋の対抗戦では彼らと競い合える様に、これからさらに努力を続けていきたいです。この度は暖かいご声援本当にありがとうございました。

### 佐々木太一 (2)

4組を走り、関西の各大学のエースとの差を痛感しました。実力差があることは分かっていたので最後尾スタートは想定していました。しかし、自分のペースで押していくことも出来ずに激しくペースダウンしてしまいました。夏明けの10000m、そして丹後駅伝に向けて自信をもってスター

ラインに立てる練習を積んでいきたいと思います。応援ありがとうございました。



佐々木太一(2):4番目 若江亮平(4):3番目

### 谷垣賢 (4)

2組を走りました。今回の選考会を通して、直前の故障等のため満足した走りができず、悔しいという気持ちと、また来年も走りたいという気持ちがわいてきました。そのためにも、地道な練習を継続して力をつけ、今年の間カレ、丹後駅伝、そして、来年の選考会では、成長した姿をお見せできるように一から頑張ります。

リモートでの応援ありがとうございました。



谷垣賢(4):3番目

### 横谷陸哉 (2)

力の差を痛感する試合になりましたが、レース展開などで反省点も多く見つけ、とてもいい経験をさせていただきました。これから一層練習に励み、関西インカレや丹後駅伝で満足のいく結果が出せるようがんばります。応援ありがとうございました。

### 三宅真之介 (3)

全体を通して消極的な走りになってしまい、自分の実力不足を痛感するレースになりました。今回レベルの高い大会のなかで自分の走りをする事ができなかった経験を忘れず、これからはどんなレースでも攻めていけるように練習を積みしたいと思います。

### 細見貴之 (4)

今回、10番手として正選手に選んで頂きましたが、結果はDNFとチームに貢献することができませんでした。ただただ、自分の力不足が原因です。11組目でしたが、チームの流れに水を差してしまう不甲斐ない走りでした。この悔しさをバネに、ロングチームが関カレ、丹後駅伝、男女駅伝そして来年の予選会に向け、パワーアップできるよう出来る限りサポートして参ります。応援して頂き本当にありがとうございました。